

授業科目名	看護コミュニケーション論(2300207)		
時間割名	看護コミュニケーション論(31201)		
時間割担当	中馬成子		
実施期	前期	単位数	1 必修
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

医療および看護の分野では、援助的なコミュニケーションが必要不可欠である。臨床で援助的人間関係を成立させるための基礎的なコミュニケーション能力を習得することを目的として、専門職として対象者と関係構築のためのコミュニケーションの理論と技術を学び、ロールプレイなどの演習やコミュニケーションに障害のある事例に対するコミュニケーションの方法なども含めて学習する。

学習の到達目標

1. 看護において、コミュニケーションが人々との相互の関に影響することが理解できる。
2. 人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーションに関する知識をと技術を説明できる。
3. 効果的なコミュニケーション技法を用い、対象者との関係を成立させる基礎的能力を習得できる。

授業方法・形式

講義に加え、臨床場面を想定した事例を用い、グループやペアでコミュニケーション技術を用いた演習を行う。

授業計画

1. 看護における人間関係構築の重要性
コミュニケーションの意義と目的
2. 看護におけるコミュニケーションとは何か
3. 2者間、3者間、チームにおけるコミュニケーション
4. コミュニケーションの構成要素と成立過程
5. コミュニケーションの基盤となる理論：自己理解、他者理解、アサーティブ、レフレクション
6. コミュニケーションにおける専門職としての態度
7. コミュニケーションにおける専門職としての倫理観
8. 効果的なコミュニケーション技術
9. 効果的なコミュニケーション技術
10. 看護過程におけるコミュニケーション
11. コミュニケーション障害（失語症、構音障害、認知症、意識障害など）のある人への対応
12. コミュニケーション障害（失語症、構音障害、認知症、意識障害など）のある人への対応
13. 事例を用いたコミュニケーションの実際
14. 事例を用いたコミュニケーションの実際
15. まとめ：看護におけるコミュニケーションの重要性

成績評価の基準

課題、期末テスト、演習態度などにより総合的に評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

日常における自分のコミュニケーションの特徴を振り返り、様々な人々とのコミュニケーションをとる。学習したことを日常でも活用し、実習では対象者とスムーズにコミュニケーションがとれるように、知識と技術を確実に習得する。

履修上のアドバイス及び留意点

演習では事例を設定し看護師役、患者役の役割を担いロールプレイを行う。看護に不可欠なコミュニケーションにが成立できるように、知識として学んだことを実践で確実に出来るように積極的な態度で講義および演習に臨む。

教材・教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 医学書院

参考書

必要に応じて適宜紹介する。